



今年の夏は大変な暑さでした。また、台風により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。ようやく過ごしやすく、お散歩や外遊びも気持ちの良い季節となりました。園行事や地域のお祭りも楽しみです。



秋から冬に気を付けたい病気

～RSウイルス感染症、溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎（ノロ）～

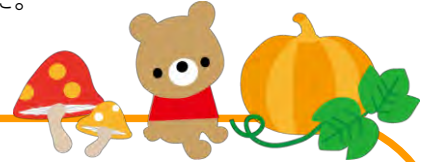
RSウイルス感染症は何度も罹患することがあります。年齢が低いほど重症化しやすく、既に流行が始まっているので注意が必要です。

溶連菌感染症は、春～夏と冬に流行が見られます。

マイコプラズマ肺炎は学童期以降に多い病気ですが、幼児にもみられます。

季節の変わり目は気管支喘息の悪化にも留意が必要です。

インフルエンザワクチン接種も気になる時期です。手洗いうがいなどで病気を予防して健康を保ち、適切な時期に接種を行いたいですね。



つらい時のホームケア ～①咳編～

- ・室温は一定に保ち加湿を行いましょう。
- ・水分はこまめに摂らせ、痰を柔らかく出しやすくしてあげましょう。
- ・咳で吐きやすく、満腹は肺を圧迫して苦しいので、食事は消化の良いものを少なめに回数を増やすとよいでしょう。
- ・冷たいものや熱いものは咳が出やすくなるので避けましょう。
- ・横になって膝を曲げたり、テーブルの上に腕を乗せて寄りかかったり、抱っこのお子さんはたて抱きにしてあげると楽に過ごせます。
- ・背中をさすったり、軽く胸や背中をたたいてあげるのもよいでしょう。食事の前後を避け就寝前に行うと、ゆっくり眠れて効果的です。
- ・元気がなくじっとしている、眠れない、食事が摂れない、1m以上離れて喘鳴が聞こえる場合は、早めに受診をしましょう。
- ・意識が低下、水分が摂れない、犬の遠吠えのような咳、喉がヒーヒー鳴る、息苦しさがある場合は、至急受診が必要です。



ご利用状況

今年度7月から9月（7/1～9/20）のご利用状況です。今年の夏は昨年の手足口病のような大きな流行もなく、風邪症状のお子さんの入室がほとんどでした。

感冒 82名 RSウイルス感染症 15名 胃腸炎 7名 その他 6名



作ったよ！

先日利用されたお子さん（3歳男児）がつみきで作ったお城です。つみきは乳児期から遊べるシンプルな玩具です。こんな凄いものが出来る創造力に感動です！保育室では、お子さんの体調に応じた無理のない遊びを提供しています。

